

平成26年度予算見積調書

課室名：みどり自然課
 担当名：野生生物担当
 内線：3143

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B83	ニホンジカ捕獲促進事業費			一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	鳥獣保護対策費	
事業期間	平成26年度～	根拠法令	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律		戦略項目				
					分野施策		040104 生物多様性保全の推進		
<p>1 事業の概要</p> <p>近年、ニホンジカの生息数の増加や生息域の拡大に伴い、森林が破壊され、一部では裸地化した区域が拡大するなど、森林生態系に重大な影響を及ぼしている。このため、増加したニホンジカの個体数を減少させる担い手となる狩猟者の支援・補強等を行い、捕獲頭数の増加を図る。</p> <p>(1) 森の番人の活動支援 37,200千円 (2) 森の番人の補強 25,719千円 (3) ニホンジカ狩猟促進事業 5,000千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容 毎年約1,500頭のシカを捕獲しているが、森林被害を抑制するに至っていないことから、捕獲の担い手、いわゆる「森の番人」である狩猟者の支援・補強等を行い、年間3,000頭を目標に捕獲圧を高める。 ア 森の番人の活動支援 くくりわな自動通報システムによるシカの捕獲 イ 森の番人の補強 捕獲専任職員によるシカの捕獲 ウ ニホンジカ捕獲促進事業 シカ個体数調整捕獲事業委託</p> <p>(2) 事業計画 ア 森の番人の活動支援 わな猟によるシカの捕獲：10組×3か月 イ 森の番人の補強 人材派遣(3人)：通年 ウ ニホンジカ狩猟促進事業 猟友会に対する捕獲事業委託：狩猟期間(11月～2月)</p> <p>(3) 事業効果 ・先進的な捕獲方法の導入や高い技術を持った捕獲専任職員の配置によって狩猟者を支援・補強することにより、シカの捕獲数を増加させることができる。 ・私的狩猟とは別に、業務として捕獲を委託することにより、猟友会によるシカの捕獲を促進することができる。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 ・民間の有する先進的な捕獲技術を活用することにより、効率的な捕獲を推進する。 ・経験豊かで指導力のある狩猟者を擁する社団法人埼玉県猟友会と連携して捕獲を実施する。</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分 (県 10/10)</p>									
<p>3 地方財政措置の状況 地方交付税(単位費用) (区分) 林野行政費 (細目) 鳥獣行政費 (細目) 鳥獣行政費 (積算内容) 鳥獣保護事業の実施等に関する事務</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.5人=4,750千円</p>									
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比
決定額	67,919	繰入金						67,919	
前年額									